

事業所名 アトリエパンダ放課後等デイサービス

支援プログラム (参考様式)

作成日 令和7年

3月

23日

法人(事業所)理念		<p><b>アトリエパンダの理念</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちのアートには褒めることがいっぱいあります！作品づくりには驚きや感動がいっぱいあるのです。楽しい、オモシロイ、その発想は凄い！アートを通して「褒めて育てる」それがアトリエパンダです。</li> <li>美術作品には間違いも失敗ありません、アトリエパンダでは一人ひとりの個性が毎日輝きます！そうすると子どもどうしも褒め合って、〇〇君すごいなあ！とか〇〇ちゃんの色がきれい！私もやってみたい、とかそんな言葉が飛び交います。子どもたちは「アートを通して褒めて育てる」これがアトリエパンダの考え方で。</li> <li>そして、もうひとつ私たちが決めていること、それは「美術作品を手伝わない」こと。(大人が手を加えない)子どもたちに言葉かけはたくさんします、でも描いたり造ったりするのは自分自身の手で。自分のしたい表現を思いっきりやってみることができる。だからこそ自分の力で完成した時の喜びはとて大きいものなのです。</li> <li>この経験の積み重ねが「さらなる意欲や目標、挑戦したい気持ち」を育むことにつながります。まさに「美術はきっかけ」アートを通して自信をつけ「学校のことにも挑戦したい、やってみたい、できそうな気がする」そのような気持ちが育つ子どもたちの居場所、一人ひとりの個性が毎日輝く放課後デイをつくります！私たちアトリエパンダは子どもたちの個性や長所を伸ばすことを心掛け職員一同熱心にサポートいたします。</li> </ul>			
支援方針		<p>描いたり造ったりイメージしたり、物づくりがお好きなお子さま、アート制作によって手先が器用になっていくことを望まれるお子さまたちに適した環境です。おしゃべりや対人関係が苦手でもアトリエパンダでは「作品がコミュニケーションツール」になっていて作品づくりを通してみんながうちとけます。</p> <p>＜美術を行うことによる療育の効果＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶手先を器用に。麻痺のあるお子様にはリハビリ効果にもつながります。</li> <li>▶興味を深め創造性、発想力や集中力が身につきます(長く着席することが出来るようになり学校への効果にもつながります)</li> <li>▶個性を大切にするとともに長所を伸ばすことで人を褒める心が養われお互いの違いを認め合うようになります。</li> </ul> <p>アートに取組みやすい空間と広々とした活動室で立体物や共同制作もできます。自分の手で造りだす達成感、自己肯定感も高まり他者を尊重する心を育み、自分も成長していく。美術作品制作、アートを通じた心育がアトリエパンダの支援方針です。</p>			
営業時間		<p>授業日 午前10時 学校休業日 午前9時</p>	<p>分から 午後7時 午後6時</p>	分まで	<p>送迎実施の有無</p> <p>あり なし</p>
支援内容					
本人支援	健康・生活	自立心を養う。美術活動を通して自主性を育てる。例えば絵画や造形なら自から形や色を選ぶことや素材経験を積むことで知識も増やしていく。興味関心が多岐にわたるよう様々な交流の機会や美術制作に向けた支援を行い、心身が健康でかつ心理的な成長につなぐ取組とすることから、おのずと生活全般への効果を生んでいく。			
	運動・感覚	美術を楽しむことで自分の好きなことを探求していくこと。興味を持って出来るように課題や環境を整備していくことで様々な美術活動に参加しながら本人の得意なところを引き出していく。手先の運動機能、巧緻性、多種材料に触れ五感を高める感覚活動を礎とすることで美術以外の日常環境でも健全な感性が発揮できるように配慮する			
	認知・行動	多様な造形活動を通して自分の長所を伸ばし自信を持って活動できるように支援を行う。制作活動をテーマに様々な交流の機会や美術制作に向けた支援を行い心理的な成長につなぐ取組とする。好きなことに打ち込める環境をつくり、それを維持していくことで子どもたち自身が環境づくりへの主体者となり学年や年齢を超えて互いの自覚を高める行動につなげていく。			
	言語コミュニケーション	美術ならではの独創性、自由な発想や考え、創造力を高め様々なことを多方面で活かしていく。様々な造形活動を通して自分の長所を伸ばし自信を持って活動できるような支援を行っていく。美術に特化した学習環境を通し、個人制作だけでなく子どもたちとの共同制作においても自由な発想や考えを形にするなど色々なことに挑戦できるようコミュニケーションの輪が広がるような支援を行っていく。対人関係では一方的な話し方ではなく言葉のキャッチボールもアート活動のなかで学ぶ。			
	人間関係社会性	美術活動で重視される環境を整える習慣など美化意識を高めていく。美術特化の学習を通し、個人制作だけでなく子どもたちとの共同制作等でも自由な発想や考えを形にするなど独創性に富んだアートプログラムを提供していく。他者との共同や調和の精神は美術を通して学べることを再認識していくことで人間関係が育まれ。日々の社会性から、さらには近い将来美術を活かした地域連携、年少者への助言や指導ができるような経験を培う。			
家族支援	自ら工夫し美術制作出来るようになっていくことで想像力を家庭生活でも活かしていく。美術の話題が家庭でも広がるような支援を日頃から行いアートが家庭での良き話題作りのきっかけになるよう配慮する	移行支援	小学生の場合6年間の学校生活を視野にアート活動の独自性や協調の精神を年次に沿って活かしていく。コミュニケーション力を高め円満な対人関係が構築できるよう心がけていく。		
地域支援・地域連携	アート活動を通して人的ネットワークの領域を広げていく。子どもたちが美術経験を活かし将来は地元地域での輪を広める活動に寄与していけるような成長を目指していく。将来出会う様々な社会に向き合い、自己を大切に、他者も尊重できる精神をアート活動で培った人間関係、調和の精神をもとに役立てていくこと。	職員の質の向上	事業所全体の中で児童生徒への支援を進めインクルージョン(地域社会への参加・包摂)を推進していくことにも配慮していく。継続(連続性)を意識するなどの観点を常に念頭においた支援を行っていく。法人内研修の実施、外部研修への参加、自立支援協議会主催研修への参加、虐待防止研修等の実施、その他外部研修への参加を通して質の向上をめざす。		
主な行事等	2月,5月,6月,9月,10月,11月の土曜にイベント開催(第3または第4土曜日等)、野外アート活動・野外大型作品共同制作を継続中。毎週土曜日は「陶芸」講座を開講(講師:陶芸家)~親子交流が可能、地域連携も可能で近隣住民の参加ができます。また、「一般美術コース」や「美術総合コース」も開講中で、美術を学びたいと希望する子どもから大人まで幅広い年齢層の方々とのアート交流が実践されています				